

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産	
信託期間	2020年2月19日まで（2015年2月27日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	世界CoCosオープン為替ヘッジありコース（毎月決算型）	ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス	世界各国の金融機関が発行するCoCos
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 世界各国の金融機関が発行するCoCosを主要投資対象とします。 信用リスクに注視しつつ、リターンの獲得を目指します。 保有する外貨建資産について、原則として円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 1発行体等あたりの株式等、債券等およびデリバティブ等の当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とします。 	
分配方針	毎月19日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）

愛称：ココマスター

第1期（決算日：2015年5月19日）

第2期（決算日：2015年6月19日）

第3期（決算日：2015年7月21日）

第4期（決算日：2015年8月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）（愛称：ココマスター）」は、去る8月19日に第4期の決算を行いましたので、法令に基づいて第1期～第4期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

MUFG

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

URL：<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-759311

（9:00～17:00、主・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目次

世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）のご報告

◇ 設定以来の運用実績	1
◇ 当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇ 運用経過	3
◇ 今後の運用方針	7
◇ 1万口当たりの費用明細	8
◇ 売買及び取引の状況	9
◇ 利害関係人との取引状況等	9
◇ 自社による当ファンドの設定・解約状況	10
◇ 組入資産の明細	10
◇ 投資信託財産の構成	11
◇ 資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇ 損益の状況	12
◇ 分配金のお知らせ	13
◇ お知らせ	13

投資対象ファンドのご報告

◇ ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス ...	15
◇ マネー・プール マザーファンド	16

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。
- ・本報告書において、作成対象期間を当作成期という場合があります。

○設定以来の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額			債券組入率 比	債券先物率 比	投資信託 証券比率	純 資 産 総 額
		(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率				
第 1 作 成 期	(設 定 日) 2015年2月27日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 544
	1期 (2015年5月19日)	10,069	25	0.9	0.0	—	98.0	1,198
	2期 (2015年6月19日)	9,817	25	△2.3	0.0	—	98.0	1,198
	3期 (2015年7月21日)	10,107	25	3.2	0.0	—	98.0	1,247
	4期 (2015年8月19日)	9,985	25	△1.0	0.0	—	98.0	1,239

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債券組入 比	債券先物 率	投資信託 証券比率
			騰 落 率			
第 1 期	(設 定 日) 2015年 2 月27日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
	2 月末	10,000	0.0	0.0	—	—
	3 月末	10,064	0.6	0.0	—	95.8
	4 月末	10,120	1.2	0.0	—	96.4
	(期 末) 2015年 5 月19日	10,094	0.9	0.0	—	98.0
第 2 期	(期 首) 2015年 5 月19日	10,069	—	0.0	—	98.0
	5 月末	10,083	0.1	0.0	—	98.0
	(期 末) 2015年 6 月19日	9,842	△2.3	0.0	—	98.0
第 3 期	(期 首) 2015年 6 月19日	9,817	—	0.0	—	98.0
	6 月末	9,888	0.7	0.0	—	97.9
	(期 末) 2015年 7 月21日	10,132	3.2	0.0	—	98.0
第 4 期	(期 首) 2015年 7 月21日	10,107	—	0.0	—	98.0
	7 月末	10,059	△0.5	0.0	—	98.0
	(期 末) 2015年 8 月19日	10,010	△1.0	0.0	—	98.0

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 各期末基準価額は分配金込み、騰落率は第1期は設定日比、第2期以降は各期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

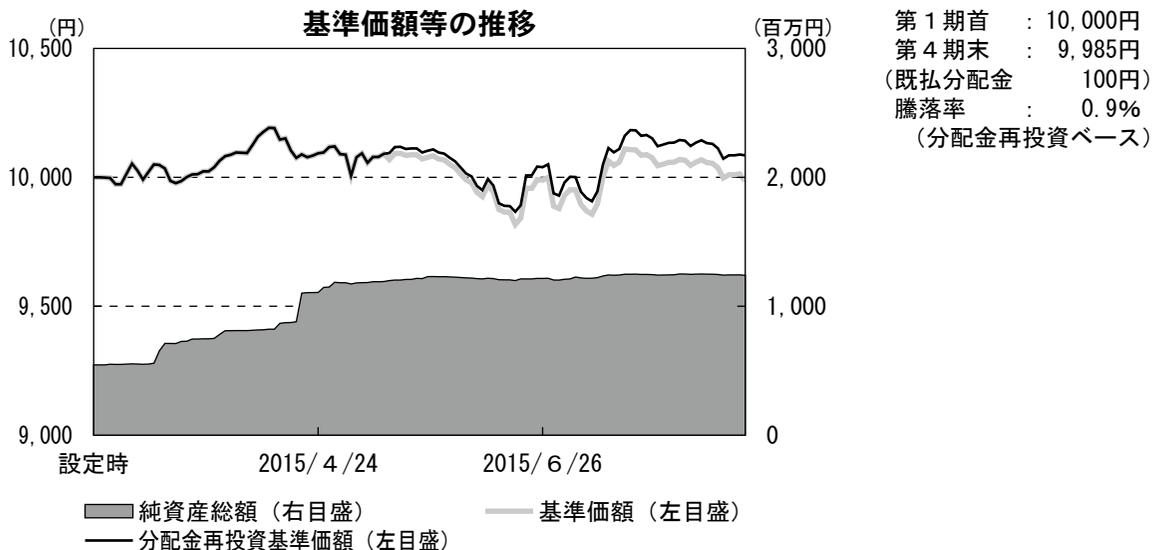
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第1期～第4期：2015/2/27～2015/8/19）

基準価額の動き	基準価額は設定時に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
---------	--------------------------------------



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	・CoCosからの利息収入が積み上がったことなどがプラスに寄与しました。
下落要因	・ギリシャの債務問題に対する懸念などが高まった2015年5月下旬以降に一部の南欧金融機関の発行するCoCosが下落したことなどがマイナスに作用しました。 ・ヘッジコスト（為替ヘッジ（保有する外貨建資産の各通貨売・円買）に伴うコスト）がマイナスに作用しました。

投資環境について

（第1期～第4期：2015/2/27～2015/8/19）

◎CoCos市況

- ・作成期を通してみると、CoCos市場は底堅く推移しました。
CoCos市場は、市場参加者の利回りを求める動きなどから、堅調に推移しました。2015年5月下旬以降、ギリシャの債務問題に対する懸念や中国景気の先行き不透明感などを背景に軟調となったものの、その後は、ギリシャに対する財政支援が実施されたことなどを背景に反発しました。

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

- ・2015年2月下旬以降の国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、おおむね0%以下で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)＞

- ・ 当作成期を通じて、円建の外国投資信託であるワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラスの受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンドの受益証券への投資も行いました。
- ・ 当作成期末において、ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラスの組入比率は98.0%となりました。
- ・ 当作成期は、CoCosからの利息収入の積み上げなどにより、基準価額は0.9%（分配金再投資ベース）上昇しました。

＜ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス＞

（当記載は、ワールド・ココス・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。）

- ・ 世界各国の金融機関が発行するCoCosに投資を行い、保有する外貨建資産について、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。
- ・ ポートフォリオの構築にあたっては、経済や金利などのマクロ的な投資環境の予測を基にしたトップダウン・アプローチと、個々の発行体の債務返済能力等を調査・分析するボトムアップ・アプローチを統合的に活用し、クレジット・ファンダメンタルズを重視した銘柄選択を実施しました。主として相対的に高い利回りが期待されるCoCosに分散投資を行いました。

＜マネー・プール マザーファンド＞

- ・ わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性を保持するように運用を行いました。

（ご参考）

銘柄格付別組入比率

（現地2015年7月末）

格付	比率
AAA	—
AA	—
A	—
BBB	14.8%
BB	77.4%
B	5.6%
CCC	—
CC以下	—
格付けなし	—

通貨別組入比率

（現地2015年7月末）

通貨	比率
米ドル	38.2%
ユーロ	38.0%
英ポンド	21.6%
キャッシュ等	2.2%
合計	100.0%

※比率はワールド・ココス・ファンドの純資産総額に対する割合です。

※キャッシュ等には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※保有している証券に係る格付けにおいて、S&P社、Moody's社およびFitch社により格付けが付与されている銘柄については、最も高い格付けをS&P社の表示方法で表記しています。（格付けのデータ出所：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー）

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期	第2期	第3期	第4期
	2015年2月27日～ 2015年5月19日	2015年5月20日～ 2015年6月19日	2015年6月20日～ 2015年7月21日	2015年7月22日～ 2015年8月19日
当期分配金	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.248%	0.254%	0.247%	0.250%
当期の収益	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	69	67	107	107

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）>

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス
の受益証券を主要投資対象とします。また、マネー・プール マザーファンドの受益証券
へも投資を行います。

<ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス>

（当記載は、ワールド・ココス・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したもので
す。）

◎運用環境の見通し

- ・金融危機前と比べて規制当局が主導する銀行のレバレッジ解消の動きにより、銀行の資本基
盤は拡大しており、銀行セクターのリスクは大きく低下しています。加えて、銀行セクター
は、数年かけて資本構造の強化を行っている途上にあります。またCoCosは、新しい資
産クラスであることや構造が複雑であることから市場の理解は十分に進んでいない面もあり
ます。こうした銀行セクターやCoCosへの市場の理解が進む過程において、CoCos
への需要は今後更に高まっていくとみています。スプレッド（国債との利回り差）水準は
ファンダメンタルズ対比で高い水準にあり、比較的高いインカム収入とスプレッドの縮小の
可能性から、CoCosには投資機会があるとみています。

◎今後の運用方針

- ・世界各国の金融機関が発行するCoCosに投資を行い、保有する外貨建資産について、原
則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。
- ・資本、流動性、リスクなどの面で改善が続くことが見込まれる発行体について、クレジッ
ト・ファンダメンタルズに基づき投資を行う方針です。加えて、事業環境の改善が見込まれ
る国で事業を行っている発行体を重視した運用を継続します。また、足元のバリュエーショ
ンは引き続き魅力的な水準にあるとみており、市場動向を注視しつつ、投資機会を探ってい
く方針です。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンでの運用を行いま
す。

○ 1万口当たりの費用明細

(2015年2月27日～2015年8月19日)

項目	第1期～第4期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	53円	0.530%	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{作成期中の日数}}{\text{年間日数}}$
(投信会社)	(18)	(0.185)	当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供 等の対価 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等 の対価
(販売会社)	(33)	(0.330)	
(受託会社)	(2)	(0.015)	
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = $\frac{\text{作成期中のその他費用}}{\text{作成期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合計	53	0.532	
作成期中の平均基準価額は、10,035円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年2月27日～2015年8月19日）

投資信託証券

決 算 期	第 1 期 ～ 第 4 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国（邦貨建）	千口	千円	千口	千円
ワールド・ココス・ファンド J P Y ヘッジド・クラス	125	1,262,957	2	29,600
合 計	125	1,262,957	2	29,600

（注1）金額は受渡代金です。

（注2）口数・金額の単位未満は切り捨てです。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 1 期 ～ 第 4 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・プール マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	9	10	—	—

（注）口数・金額の単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

（2015年2月27日～2015年8月19日）

利害関係人との取引状況

<世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）>

決 算 期	第 1 期 ～ 第 4 期					
	区 分	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D
投資信託証券						

<マネー・プール マザーファンド>

決 算 期	第 1 期 ～ 第 4 期					
	区 分	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D
公 社 債						
現 先 取 引（公社債）	164,906	—	—	166,506	—	—

平均保有割合 0.0%

（平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。）

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 1 期 ~ 第 4 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	－千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	－千円
(B) / (A)	－%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における利害関係人との取引はありません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2015年2月27日～2015年8月19日)

設定時残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	当作成期末残高(元本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 －	百万円 －	百万円 1	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2015年8月19日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 1 作 成 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
ワ ー ル ド ・ コ コ ス ・ フ ァ ン ド J P Y ヘ ッ ジ ド ・ ク ラ ス	千口 122	千円 1,214,536	% 98.0
合 計	122	1,214,536	98.0

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

親投資信託残高

種 類	第 1 作 成 期 末	
	口 数	評 価 額
マ ネ ー ・ プ ー ル マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 9	千円 10

(注1) 当マザーファンド全体の受益権口数は791,168千口です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年8月19日現在)

項 目	第 1 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,214,536	% 97.6
マネー・プール マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	29,388	2.4
投資信託財産総額	1,243,934	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年5月19日) (2015年6月19日) (2015年7月21日) (2015年8月19日)現在

項 目	第 1 期 末	第 2 期 末	第 3 期 末	第 4 期 末
	円	円	円	円
(A) 資 産	1,214,014,063	1,202,975,963	1,252,239,706	1,243,934,054
コール・ローン等	38,839,628	28,390,414	28,738,565	29,387,975
投資信託受益証券(評価額)	1,175,164,389	1,174,575,512	1,223,491,100	1,214,536,036
マネー・プール マザーファンド(評価額)	10,000	10,000	10,001	10,001
未 収 利 息	46	37	40	42
(B) 負 債	15,126,331	4,203,353	4,278,551	4,206,447
未 払 金	10,000,000	—	—	—
未 払 収 益 分 配 金	2,976,675	3,052,760	3,086,804	3,104,007
未 払 信 託 報 酬	2,141,300	1,146,153	1,187,147	1,098,185
そ の 他 未 払 費 用	8,356	4,440	4,600	4,255
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,198,887,732	1,198,772,610	1,247,961,155	1,239,727,607
元 本	1,190,670,117	1,221,104,371	1,234,721,898	1,241,602,925
次 期 繰 越 損 益 金	8,217,615	△ 22,331,761	13,239,257	△ 1,875,318
(D) 受 益 権 総 口 数	1,190,670,117口	1,221,104,371口	1,234,721,898口	1,241,602,925口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,069円	9,817円	10,107円	9,985円

(注1) 当ファンドの第1期首元本額は544,972,082円、第1期～第4期中追加設定元本額は711,160,096円、第1期～第4期中一部解約元本額は14,529,253円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第1期末1.0069円、第2期末0.9817円、第3期末1.0107円、第4期末0.9985円です。

(注3) 第2期末および第4期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は第2期末22,331,761円、第4期末1,875,318円です。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

○損益の状況

項 目	第 1 期 (自2015年 2月27日 至2015年 5月19日)	第 2 期 (自2015年 5月20日 至2015年 6月19日)	第 3 期 (自2015年 6月20日 至2015年 7月21日)	第 4 期 (自2015年 7月22日 至2015年 8月19日)
	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
	円	円	円	円
(A) 配 当 等 収 益	11,333,871	5,942,964	6,002,594	6,385,883
受 取 配 当 金	11,329,374	5,941,693	6,001,347	6,384,743
受 取 利 息	4,497	1,271	1,247	1,140
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,864,985	△32,530,570	33,878,079	△17,339,807
売 買 益	5,558	—	33,914,242	—
売 買 損	△ 2,870,543	△32,530,570	△ 36,163	△17,339,807
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,149,656	△ 1,150,593	△ 1,191,747	△ 1,102,440
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	6,319,230	△27,738,199	38,688,926	△12,056,364
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	—	3,342,555	△27,124,569	8,477,553
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,875,060	5,116,643	4,761,704	4,807,500
(配 当 等 相 当 額)	(148,786)	(311,262)	(574,554)	(636,775)
(売 買 損 益 相 当 額)	(4,726,274)	(4,805,381)	(4,187,150)	(4,170,725)
(G) 計 (D + E + F)	11,194,290	△19,279,001	16,326,061	1,228,689
(H) 収 益 分 配 金	△ 2,976,675	△ 3,052,760	△ 3,086,804	△ 3,104,007
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	8,217,615	△22,331,761	13,239,257	△ 1,875,318
追 加 信 託 差 損 益 金	4,875,060	5,116,643	4,761,704	4,807,500
(配 当 等 相 当 額)	(148,786)	(311,262)	(574,554)	(636,775)
(売 買 損 益 相 当 額)	(4,726,274)	(4,805,381)	(4,187,150)	(4,170,725)
分 配 準 備 積 立 金	6,207,540	7,947,151	10,589,823	12,769,259
繰 越 損 益 金	△ 2,864,985	△35,395,555	△ 2,112,270	△19,452,077

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 分配金の計算過程

項 目	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末
(a) 配当等収益(費用控除後)	9,184,215円	4,792,371円	5,823,236円	5,283,443円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0	0	0	0
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,010,075	311,262	2,649,434	636,775
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	—	6,207,540	7,853,391	10,589,823
(e) 分配対象収益(a + b + c + d)	11,194,290	11,311,173	16,326,061	16,510,041
(f) 分配金額	2,976,675	3,052,760	3,086,804	3,104,007
(g) 分配金額(1万口当たり)	25	25	25	25

○分配金のお知らせ

決 算 期	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
1 万口当たり分配金(税込み)	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

※三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2015年8月19日現在)

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体 (791,168千口) の内容です。

国内公社債

(1) 国内 (邦貨建) 公社債

作成期 区分	第 1 作成 期 末			残存期間別組入比率			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	500,000 (500,000)	500,000 (500,000)	62.9 (62.9)	— (—)	— (—)	— (—)	62.9 (62.9)
合計	500,000 (500,000)	500,000 (500,000)	62.9 (62.9)	— (—)	— (—)	— (—)	62.9 (62.9)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 国内 (邦貨建) 公社債 銘柄別

作成期 銘柄	第 1 作成 期 末	利 率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)	%		千円	千円	
第536回国庫短期証券	—		200,000	199,999	2015/9/7
第538回国庫短期証券	—		100,000	100,000	2015/9/14
第541回国庫短期証券	—		200,000	200,000	2015/9/28
合計	—		500,000	500,000	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス

当ファンドは、世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）が投資対象とする外国投資信託証券です。

なお、世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）の第4期決算日（2015年8月19日）現在において、当ファンドは第1期決算日を迎えておりませんので、開示すべき情報はございません。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界各国の金融機関が発行するCoCosを主要投資対象とします。 2. 信用リスクに注視しつつ、リターンの獲得を目指します。 3. 保有する外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 4. 資金動向や市況動向等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。
投 資 顧 問 会 社	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2015年2月27日
会 計 年 度 末	毎年12月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

「ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー」について

ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つであり、グローバルに事業を展開しています。また、CoCosが初めて発行された2009年からCoCosへの投資を行っています。

マネー・プール マザーファンド

《第12期》決算日2015年7月14日

〔計算期間：2015年1月15日～2015年7月14日〕

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第12期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主な投資対象	わが国の公社債
主な投資制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰落	中率			
8期（2013年7月16日）	円 10,039	% 0.0	% 91.6	% —	百万円 1,854
9期（2014年1月14日）	10,042	0.0	90.4	—	1,437
10期（2014年7月14日）	10,045	0.0	93.4	—	1,284
11期（2015年1月14日）	10,047	0.0	84.8	—	1,179
12期（2015年7月14日）	10,049	0.0	85.2	—	821

（注）債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期 首) 2015年 1月14日	円 10,047	% —		% 84.8	% —
1月末	10,048	0.0		90.5	—
2月末	10,048	0.0		92.1	—
3月末	10,048	0.0		89.7	—
4月末	10,048	0.0		95.9	—
5月末	10,048	0.0		91.7	—
6月末	10,049	0.0		88.7	—
(期 末) 2015年 7月14日	10,049	0.0		85.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

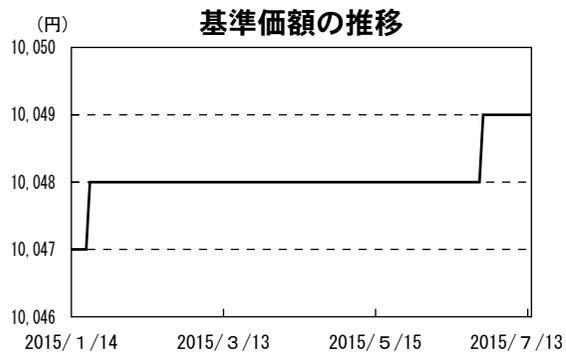
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第12期：2015/1/15～2015/7/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.0%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

利子等収益が積みあがったことが、基準価額にプラスに寄与しました。

投資環境について

(第12期：2015/1/15～2015/7/14)

▶ 国内短期金融市場の動向

〈無担保コール翌日物金利の推移〉

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

〈国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移〉

- ・2015年1月中旬以降の国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、おおむね0%以下で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性を保持するように運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。
そのため、記載すべき事項はありません。

今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンでの運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2015年1月15日～2015年7月14日)

当期に発生した費用はありません。

○売買及び取引の状況

(2015年1月15日～2015年7月14日)

公社債

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
	国債証券	187,906,143	188,206,234

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

○主要な売買銘柄

(2015年1月15日～2015年7月14日)

公社債

国内の現先取引のみであるため記載がありません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月15日～2015年7月14日)

利害関係人との取引状況

区分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
現先取引(公社債)	百万円 187,906	百万円 —	% —	百万円 188,206	百万円 —	% —

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当	期
売買委託手数料総額(A)		—千円
うち利害関係人への支払額(B)		—千円
(B) / (A)		—%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における利害関係人との取引はありません。

○組入資産の明細

(2015年7月14日現在)

国内（邦貨建）公社債

(1) 国内（邦貨建）公社債

決 算 期 区 分	当 期			期 末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	700,000 (700,000)	700,138 (700,138)	85.2 (85.2)	— (—)	— (—)	— (—)	85.2 (85.2)
合 計	700,000 (700,000)	700,138 (700,138)	85.2 (85.2)	— (—)	— (—)	— (—)	85.2 (85.2)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) —印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別

決 算 期 銘 柄	当 期			期 末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
第541回国庫短期証券※	—	100,000	100,000	—	
第543回国庫短期証券※	—	600,000	600,138	—	
合 計	—	700,000	700,138		

(注1) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注2) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2015年7月14日現在)

項 目	当 期		期 末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 700,138	% 84.6		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	127,620	15.4		
投 資 信 託 財 産 総 額	827,758	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年7月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	827,758,933
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	127,620,152
公 社 債(評価額)	700,138,600
未 収 利 息	181
(B) 負 債	6,266,321
未 払 解 約 金	6,266,321
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	821,492,612
元 本	817,500,936
次 期 繰 越 損 益 金	3,991,676
(D) 受 益 権 総 口 数	817,500,936口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C/D)	10,049円

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (D) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・ (E) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当マザーファンドの期首元本額は1,174,422,749円、期中追加設定元本額は4,420,909,775円、期中一部解約元本額は4,777,831,588円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末1.0049円です。

○損益の状況 当期 (2015年1月15日~2015年7月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	184,600
受 取 利 息	184,600
(B) 当 期 損 益 金(A)	184,600
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	5,564,017
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	21,247,829
(E) 解 約 差 損 益 金	△23,004,770
(F) 計 (B+C+D+E)	3,991,676
次 期 繰 越 損 益 金(F)	3,991,676

(注4) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は以下の通りです。

ファンド名	当期末 元本額
世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし) 2014-02	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし) 2014-04	99,562
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523
新興国公社債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	2,328,870
新興国公社債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	200,000
新興国公社債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	1,307,246
新興国公社債オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	93,548
新興国公社債オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	11,291,577
新興国公社債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,989
新興国公社債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅡ(年2回決算型)	7,420,727
世界投資適格債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	5,154,901
世界投資適格債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	49,966
世界投資適格債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	995,161
世界投資適格債オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	2,234,005
世界投資適格債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	28,349
世界投資適格債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875
世界投資適格債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅡ(年2回決算型)	6,987,698
日本株 2.5プルベア・オープンⅡ(マネー・プール・ファンドⅣ)	381,773,157
マネー・プール・ファンドⅣ	1,146,607
マネー・プール・ファンドⅥ	178,814,624
マネー・プール・ファンドⅦ(適格機関投資家専用)	976,707
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	4,314,823
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	119,857
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	769,078
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	15,855,020
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,977
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	554,401
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)資源国通貨バスケットコース(毎月決算型)	1,608,548
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	19,925
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅤ(年2回決算型)	112,249,885
米国高利回り社債ファンド(毎月決算型)	999
米国高利回り社債・円ファンド(毎月決算型)	999
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド(毎月決算型)	999
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)分配型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)分配型	99,561
トレンド・アロケーション・オープン	997,308
エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	99,682
エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	99,682

ファンド名	当期末 元本額
国際オーストラリア債券オープン(毎月決算型)	997
リスク・パリティαオープン	995
欧州ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり	9,963
欧州ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし	39,849
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	996,215
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	996,215
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)マレーシア・リンギットコース(毎月決算型)	99,602
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)円コース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(1年決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ロシア・ルーブルコース(1年決算型)	9,986
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ロシア・ルーブルコース(毎月決算型)	9,986
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)中国元コース(1年決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(1年決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(1年決算型)	9,986
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅢ(1年決算型)	44,147,576
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅤ(年2回決算型)	29,025,605
欧州アクティブ株式オープン(為替ヘッジあり)	4,979
欧州アクティブ株式オープン(為替ヘッジなし)	4,979
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース(毎月決算型)	99,562
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース(毎月決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース(年2回決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	9,957
優良証券プラス・オープン 為替プレミアムコース(年2回決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース(毎月決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース(年2回決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース(年2回決算型)	9,956
米国成長株オープン	996
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース(毎月決算型)	9,953
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース(毎月決算型)	9,953
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	9,953
合計	817,500,936

【お知らせ】

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。